

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス にここクラブ		
○保護者評価実施期間	R7年1月10日		～ R7年2月8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	R7年1月10日		～ R7年2月8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年2月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが充実している。	プログラム内容が固定化しないように、職員間で意見や案を出し合っている。 また、外出レクや家庭ではできない出前講座や体験活動等を積極的にしている。	活動範囲を広げていきたい。 事業所予算と相談しながら、新しい外出先を開拓したり、利用者様が楽しめそうなレクを考えていきたい。
2	事業所のスペースが広い	建物が1階と2階に分かれており、利用目的によって(学習とブレイルーム、レクの内容で分ける、感染症対策等)過ごし分けができる。	学習のために個室が必要な利用者様が大人数になると、相談室だけではやや狭い。現在では大丈夫だが、今後改善が必要となってくるかもしれない。
3	活動の様子について、Instagramを活用して細かくアップしている。	職員ひとりひとりが日頃から写真を撮ることを心掛け、担当職員が写真を加工、コメントを考え、楽しい様子、珍しい体験の様子が伝わるように頻りにアップしている。	保護者への認知度が低いので、父母会などを通じて広めていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母向けのペアレント・トレーニング等研修の場がない。	他保護者との交流を望まれていない保護者様が複数名おられ控えていた。	来年度は希望される方に向けて、研修会を設ける予定である。
2	事業所が外階段でつながっており、完全なバリアフリーではなく、車椅子の受け入れが困難である。	建物の条件などより対応が困難である。	建物の条件などより対応が困難である。
3	宇部市内の広い範囲を受け入れたいが、職員数、学校の下校時間の関係で事業所の近くの校区に限定した受け入れとなっている。	事業所が宇部市の西寄りに位置しており、東部の校区は対応ができていない。	職員数は定数より多く配置しているが、学校、学年により下校時間が異なっているので送迎コースを組むに限界がある。